

安全データシート

作成日 2006年 7月 1日

改訂日 2023年 8月21日

1.製品及び会社情報

製品名: サンデックスJET 主材

会社名: オバナヤ・セメントテックス株式会社
住所: 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号: 0594-72-6488
FAX番号: 0594-72-6253
担当部門: 製造部 工場管理課
整理番号: M1107

2.危険有害性の要約

GHS分類

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

危険有害性情報: 水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き: 《安全対策》

本製品で吹付け作業を行なう場合、危険有害性に関する十分なデータがないため、必ず呼吸用保護具(保護マスク)・保護眼鏡等を装着してください。

使用前に安全データシート又は取扱説明書入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護マスクを着用すること。

必要に応じて個人用保護具を着用すること。

《応急措置》

眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。

取扱い後は、手をよく洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けること。

特別処置が緊急に必要な場合。

漏出物を回収すること。

《保管》

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を国際/国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性: 眼に入ると刺激がある。

継続的な皮膚接触により炎症を起こす場合がある。

常温のストレートアスファルトはGHS危険有害性分類に非該当であるが、加熱時に発生するミスト/煙/蒸気/ヒューム等には有害性が指摘されており、吸入を避けること。ストレートアスファルト加熱時に硫化水素/一酸化炭素を発生する場合がある。室外で取扱う場合は風上で作業を実施し、室内の場合は十分な換気を行なう。

環境影響: 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり汚濁させる。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：ゴムアスファルト系塗膜防水材料

成分及び含有量：

成分名	含有量	化審法	CASNo.	安衛法
アスファルト	55 ～ 65%	9-1720	8052-42-4	12-189
スチレン・ブタジエン共重合体	15 ～ 25%	非公開	非公開	非公開
水等	10 ～ 20%	非公開	非公開	非公開

法規制対象成分：

成分	安衛法	P R T R法
アスファルト	表示／通知対象物（11-3）	指定化学物質に該当しない
スチレン・ブタジエン共重合体	表示／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
水等	表示／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する成分： 情報なし

4.応急措置

- 吸入した場合： エマルションは水を分散媒体とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。もし気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所に移り安静にする。
- 皮膚に付着した場合： 接触部位を水・石けんで十分洗い流す。外観に変化が見られたり、痛み・かゆみ等がある場合は直ちに医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合： 清浄な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： 直ちに医師の手当を受ける。
- 応急措置をする者の保護： 救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5.火災時の措置

本製品は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。もし、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。

- 適切な消火剤： 水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性： 加熱により、硫化水素／一酸化炭素を発生する場合がある。発生するミスト／煙／蒸気／ヒュームを吸い込まないようにする。
- 特有の消火方法： 製品乾燥物に着火した場合は、注水・水噴霧・ドライケミカル等一般消火剤を使用し、消火は風上から行う。
- 消火を行う者の保護： 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、吸気式呼吸用保護具)を着用する。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 出来るだけ直接皮膚に触れないようにし、保護手袋(ゴム又は樹脂製)保護眼鏡(ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプ)、長靴(ゴム製)を着用する。
- 環境に対する注意事項： 万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届け出ること。
本製品は河川・湖沼等に流入すると少量でも広範囲にわたり汚濁させる。
河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。
- 封じ込め及び浄化の
方法及び機材： 漏出源を遮断し、漏れを止める。
少量の場合、乾燥砂・オガクズ・ウエス等に吸収させ回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する
- 二次災害の防止策： 特になし

7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意： 容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡・マスクを着用する。
室内での取扱いには換気を良くする。
取扱い後は、うがいを行ない石鹸で手を洗うこと。
- 保管上の注意： 直射日光を避け、凍結を避けるために密閉容器で5～40℃の室内に保管する。
容器包装材料は、製品使用の容器に準じたもの及び SUS 製容器等。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない
許容濃度：	アスファルト ACGIH TWA: 0.5mg/m ³
設備対策：	使用に当たっては換気を良くする。 換気の悪い場所で使用する場合、換気装置を設置する。 取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。
呼吸器の保護具：	特になし
手の保護具：	ゴム又は樹脂製が良い。
眼の保護具：	ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。
皮膚及び身体の保護具：	厚手の布製で長袖、長ズボンが望ましい。
特別な注意事項：	作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。

9.物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
色：	黒色
臭い：	ラテックス臭
融点／凝固点：	データなし
沸点：	製品 100°C
初留点：	製品 データなし アスファルト 350°C以上
沸騰範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界／上限界：	データなし
引火点：	製品 データなし アスファルト 260°C (COC)
自然発火点：	製品 データなし アスファルト 約 480°C
分解温度：	データなし
p H:	製品 10.5
動粘性率：	製品 1000 mm ² /s (25°C)
溶解度：	製品 水と接触すると凝集する。
n-オクタノール／ 水分分配係数 (log 値)：	製品 データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	製品 1g/cm ³ (密度) アスファルト 1.00~1.07 g/cm ³ (15°C) (密度)
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10.安定性及び反応性

安定性：	室温では安定。
反応性：	情報なし
危険有害反応可能性：	水と接触すると凝集する。
避けるべき条件：	加熱・高温・直射日光・氷点下
混触危険物質：	水禁忌物質と同一場所での保管は避ける。
危険有害な分解生成物：	データなし

11.有害性情報

急性毒性：	製品	データなし		
	アスファルト	5000 mg/kg	経口ラット (LD ₅₀)	提供会社 SDS
	アスファルト	2000 mg/kg	経皮ラビット (LD ₅₀)	提供会社 SDS
	アスファルト	減圧蒸留残渣油として		

皮膚腐食性／刺激性：	データなし	
眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性：	製品	データなし
	アスファルト	常温におけるほぼ固体状態での有害性に関するデータは確認できない。 減圧蒸留残渣油として、ドレイズテストの結果、軽度の刺激性が確認されている。 アスファルト蒸気／ヒュームによる結膜炎、眼刺激性が複数報告されているが、回復性のものであったとの記載がある。溶融アスファルトから発生するガスは、呼吸器系や眼の粘膜を刺激する。
呼吸器感作性：	データなし	
皮膚感作性：	データなし	
生殖細胞変異原性：	製品	データなし
	アスファルト	アスファルトヒュームまたはアスファルトヒューム凝縮液、アスファルトペイント等による各種試験結果があり、生殖細胞変異原性については陽性／陰性のデータが存在する。
発がん性：	製品	データなし
	アスファルト	道路舗装等のストレートアスファルトによる長期間に及ぶ「アスファルト・エミッション」による職業ばく露について IARC は、「グループ2B」(人に対して発がんの可能性はある)に分類している。なお IARC は「アスファルト・エミッション」を「加熱され気化した物質及び気体、及び気体となったアスファルトが空气中で凝集し、小さな粒となり雲状になったヒューム」と規定し、「道路舗装」を「アスファルト混合物製造、運搬、舗設に関わる作業」、「職業ばく露」を「作業者が1日に4～9時間程度を長期間にわたりさらされること」と規定している。EU CLP 規則(1272/2008/EC) 付属書VI Table3.1 及び Table3.2 に記載されていない。(有害性として分類されない)
生殖毒性：	データなし	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：	データなし	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)：	製品	データなし
	アスファルト	常温におけるほぼ固体状態での有害性に関するデータは確認できない。 アスファルトヒュームの吸入試験(マウス、6～7h/日、5日/週で21ヶ月)で気管浸潤、気管支炎、肺炎、膿瘍、繊毛損失、上皮委縮及び皮膚肥厚が認められた。ヒトにおいて、ヒュームの吸入経路で鼻炎、口咽頭炎、喉頭炎、気管支炎、ヒュームの経皮ばく露では皮膚炎、ざ瘡(にきび)様の病変、軽度角化症が報告されている。また動物実験において、マウスを用いた吸入毒性試験において呼吸器に影響がみられているが、ばく露濃度の記載がなく分類に用いることはできない。
誤えん有害性：	データなし	

12.環境影響情報

生態毒性

魚類：

製品	>100 mg/l-96hr	ヒメダカ(LC ₅₀)	類似製品試験結果
スチレン・ブタジエン共重合体	>100 mg/l-96hr	ヒメダカ(LC ₅₀)	提供会社 SDS

甲殻類：

製品	10.2 mg/l-48hr	オオミジンコ	類似製品試験結果
スチレン・ブタジエン共重合体	1.0-10 mg/l-48hr	オオミジンコ	提供会社 SDS

藻類：

製品	>100 mg/l-72hr	プセウドキルクネリエラ属	類似製品試験結果
スチレン・ブタジエン共重合体	>100 mg/l-72hr		提供会社 SDS

スチレン・ブタジエン共重合体 10 mg/l (NOEC) 提供会社 SDS より

水生環境有害性

短期(急性)： 製品 類似製品の製品試験結果より、区分3とした。

水生環境有害性

長期(慢性)： 製品 慢性のデータはないが、類似製品の急性の製品試験結果より、区分3とした。

残留性・分解性：	アスファルト	残留性:ヒュームの揮発性成分は大気中のヒドロキシラジカルと反応する。水中では、アスファルトは分散性は乏しく、浮か沈むかである。土壌中では移動性はない。
生体蓄積性：	アスファルト	アスファルトの構造成分の log Kow は 6 以上なので生態蓄積性があると判定されるが、実際には、極めて水に難溶であり、このような高分子量の物質が水中生物の体内に取り込まれることは考えにくい。
土壌中の移動性：	アスファルト	土壌中では移動性はない。
オゾン層への有害性：	データなし	
他の有害性：		知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

13.廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
加熱により、硫化水素／一酸化炭素を発生する場合がある。発生するミスト／煙／蒸気／ヒュームを吸い込まないように廃棄する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14.輸送上の注意

注意事項：	直射日光を避け、5～40℃で郵送する。 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国際規制	
国連分類：	分類基準に該当しない
国連番号：	分類基準に該当しない
品名(国連輸送品名)：	分類基準に該当しない
容器等級：	分類基準に該当しない
海洋汚染物質：	有害液体物質 Y 類相当品
国内規制：	特になし
特別の安全対策：	特になし
応急措置指針番号：	なし

15.適用法令

※労働安全衛生法 表示／通知対象物質及び PRTR 法は、3. 組成及び成分情報を参照願います。

〈製品〉

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

《使用成分情報》

〈アスファルト〉

労働安全衛生法	法第 57 条の 1、施行令第 18 条の 1 別表第 9 名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第 57 条の 3 危険性又は有害性を調査しなければならない物質 特定化学物質障害予防規則 特定化学物質第 2 類物質 (アスファルトに含まれる硫化水素)
	労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則 特定化学物質第 3 類物質 (アスファルト加熱時に発生する一酸化炭素)
消防法	3,000 kg 以上の場合、指定可燃物
海洋汚染防止法	油分排出規制
水質汚濁防止法	油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則
〈スチレン・ブタジエン共重合体〉	
海洋汚染防止法	施行令別表第 1 有害液体物質(Z 類)

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。
